



諏訪湖通信100号



令和8年10月20日号発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



第7回「諏訪湖の日」記念イベント 諏訪湖の魅力をたずねる会

「諏訪湖の日」の記念イベントとして、11月7日(土)に下諏訪町赤砂崎公園ヘリポート付近を会場に、「諏訪湖の魅力をたずねる会」が開催されます。子どもから高校生までを中心に、多くの方に諏訪湖の自然や文化に親しみながら、未来の諏訪湖について考える機会となるイベントです。当日は、エンジェルスハーブや馬頭琴による演奏とコーラス、諏訪湖にまつわる紙芝居の上演やクイズなど楽しみながら学べるプログラムが予定されています。また、湖岸の清掃活動も行い、諏訪湖を守り次世代へつないでいく大切さについて考えます。



また、来年5月1日に予定されている「諏訪湖バルーンプロジェクト」の紹介も行われます。ふるさとの宝である諏訪湖。熱気球を通じて諏訪湖の魅力を発信し、未来の諏訪湖について考える新たな取組として、その魅力を再発見し、将来にわたって守り育てていくために、一人ひとりができることを考える機会として計画されています。

長和町の自然農法 はぜかけ天日干しの新米おにぎりも！(有料)

駐車場・参加費無料(ただし、資料、景品の都合上事前にお申込みをお願いします。)

問合せ・申し込み 諏訪湖の魅力をたずねる会 090-3212-0303

旅鳥たちの渡りをささえる諏訪湖へ

2020年夏ごろから砥川河口に形成され始めた砂州とその周辺に、旅鳥であるシギやチドリが休息のために立ち寄りました。2021 22年の8月～10月には、1日に10～20羽、多い日で数種40羽前後を観察できました。この2年余りの春と秋に、合計32種ものシギ・チドリ類を確認しました。かつて野鳥や多様な生物の生息域であった「渋のエゴ」が消失後、数十年見ることのなかった光景です。このことは、以前から諏訪湖上空が旅鳥たちの渡りのルートであり、諏訪湖、とりわけ砥川河口とその周辺が重要な休息場所であることを示すものでした。

しかし、河口部の工事が行われた2023年から、旅鳥たちの姿はほとんど見られなくなりました。今秋、少数ですがアカエリヒレアシシギ、トウネン、アオアシシギなどを確認しています。多くの旅鳥たちが諏訪湖上空を渡っているものの、降り立ってない状況だと推察しています。旅鳥たちが休息できるような環境保全がなされ、諏訪湖の水辺で、再びシギやチドリの美しい群翔が見られることを願います。(日本野鳥の会諏訪支部 写真:宮澤富幸)



2025年 春
赤砂崎の桜並木とセイタカシギ



2025年 秋
砥川河口砂州上のトウネンの群れ

「諏訪湖通信100号」に寄せて 「小さな一歩から、大きな夢へ」

(諏訪湖創生ビジョン推進会議会長 沖野外輝夫)

令和への改元の年に、諏訪湖創生ビジョン推進会議は発足しました。諏訪湖の環境改善をより確かなものとするため、公民協働による取組を推進することが目的でしたが、その当時は具体的な将来像や活動の道筋が明確に定まっていたわけではありませんでした。また、公民協働による組織運営についても、参考となる先例が十分にあったとは言えませんでした。

「諏訪湖の環境を保全し、将来、世界に誇れる諏訪地域を創生する」という協議会の目標は決して間違ったものではありませんが、本当に実現できるだろうかという思いもありました。一方で、目指す夢は大きい方がよいとも考えました。

協議会の最大の特徴は公民協働にあります。そのため、まず諏訪地域の住民団体に参加を呼びかけましたが、応募があったのは私の所属する「諏訪湖クラブ」のみでした。少々残念ではありましたが、まずは諏訪地域振興局の関係部局と諏訪湖クラブによる事務局会議を立ち上げ、活動を開始しました。

その活動の一つが、この「諏訪湖通信」です。協議会に参加する住民団体や個人による諏訪湖を中心とした様々な活動と、諏訪地域振興局が進めている事業や計画を紹介し、情報を共有することを目的としました。

こうした情報の蓄積と共有を通じて、諏訪地域の住民が望む諏訪湖と地域の将来像が描かれ、その実現に向けた環境づくりや地域づくりが進められることを期待しています。

諏訪湖通信100号を迎えて(推進会議事務局)

平成30年の創刊以来、諏訪湖通信は今回で100号を迎えました。この間、諏訪湖創生ビジョンの推進をはじめ、水質改善やビシ対策、生き物、水辺活用、「諏訪湖の日」プロジェクトなど、さまざまな取組や話題をお届けしてきました。

見出しを振り返ると、諏訪湖を「守る」だけでなく、「学び」「親しみ」「活かす」取組が広がってきたことが分かります。また、地域住民や企業、学校、関係団体など、多くの皆さまの活動が諏訪湖創生を支えていることも発信してきました。

諏訪湖は、流域の人々の暮らしとともに歩んできた、地域を象徴する大切な存在です。これからも諏訪湖の「今」と多様な主体の取組をお伝えしながら、諏訪湖創生の輪を広げていきたいと思います。

改めて、これまで情報提供や記事の寄稿にご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

100号という節目を迎えた諏訪湖通信ですが、今後の情報発信のあり方については、ホームページ等の活用も含めて検討していきます。形は変わっても、これからも諏訪湖の魅力や取組を皆さまにお届けしてまいります。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し 誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901